



地域協働学校 ふじみ野市立亀久保小学校

あった会議だより

令和7年度 第2号 発行：亀久保小学校 学校運営協議会

来年度は開校50周年！



第2回「あった会議」が開催されました

今回は「わくわくまつり」の日に行われました。以下、当日の議事録です。

【日時・場所】令和7年6月27日（金）9：00～ 於：亀久保小学校 コミュニティルーム

【会長あいさつ】

わくわくまつりで子どもたちも元気な様子でとても微笑ましい。コロナの影響でお祭りやイベントの機会が減少しているので、こういった場を作るのも大人の責務かなと考えている。会議後にわくわくまつりを見まわれるということで、楽しみにしている。

【校長あいさつ】

今回の協議の柱については、大塚会長や社会教育課と練ってきた。わくわくまつりについては、今日まで最高学年の6年生が必死にリーダーとして動いていて、1年生はグループでみんなと和気あいあいとした様子で準備を進めていた。また、花組兼地域コーディネーターの内山さんが保健室前に蓮の花を飾ってくださり、登校指導時に子供たちにも「絶対見たほうがいいよ」と声がけした。現在は残念ながら花は散ってしまっただが、いつも温かいお心遣いに感謝している。



【協議】

今年度の学校運営協議会の方針について（校長）

前回の熟議で、亀久保小のよさ（強み）や課題について話し合っていた。結果をまとめると…

◆よさ（強み）

- ・学校応援団や見守り隊などそれぞれの組織を生かした地域力が高い
- ・地域のつながりが子供たちの育つ文化のバックボーンになっている
- ・地域に都会的などところと自然も多くあり大変恵まれている
- ・子供たちが素直で元気



◆課題

- ・人とつながる力の育成
- ・積極性を養うこと
- ・自ら発信する力の育成
- ・チャレンジ精神の育成
- ・応用力・デジタル力の育成

◆学校職員が感じている課題

- ・自分で考えて判断し行動する力
- ・人と上手に関わる力の育成



委員の意見に加えて…

以上のことを踏まえて、今年度の学校運営協議会の方針を以下のように提案させていただきたい。

**子供たちの「自分で考え自信を持って行動する力」を支える
亀久保小地域協働学校**

⇒委員全員で了承

漢字検定について（校長・内山委員）

本校は高い地域力に恵まれている。その地域力をお借りしながら、子供が自信を持って前向きになれる機会の一つとして、漢字検定に関する提案が内山さんからあった。（以下概要案）

<実施日>令和8年8月下旬

<会場> 亀久保小学習室 または 他施設 ⇒検討中

<主催> 亀久保小学校運営協議会 ⇒実働は漢字検定準備委員会

<対象> 亀久保小児童 ⇒対象学年を制限する可能性あり

<実施のメリット> ・検定料が公開会場より1,000円安い

・慣れない場所でやるより、徒歩圏内で気軽に受けられる



<控除金の扱いについて>

事務連絡費（検定料総額の5%）と準会場実施経費が控除される。扱いについては今後要検討。

<質疑応答>

Q. 委員が準備委員を担う形か？（大塚会長）

A. 協力いただけたらありがたいが、行程が多くあるのでうまく分担できたら。学校応援団や保護者の方にも声掛けをしてご協力いただきたいと考えている。（内山委員）

Q. 来年の予定ということだが、もっと早く実施できないものか？（濱田委員）

A. 亀久保小を会場とするかは検討中で、できれば学校職員の業務にはしたくないというのが本音。一方で、職員が出勤していない土日を実施というのも難しい。冬休みはほとんどの職員が休暇に入るので、出勤のある夏休みの後半が望ましいと考えている。準備等の関係で来年が望ましい。（校長）

Q. 他校で実施しているそうだが、参加者はどのくらい？（濱田委員）

A. 東原小で50人ほど。三角小は放課後子ども教室とのコラボで平日開催を行っている。（内山委員）

Q. 受検対象は？児童に限らない？（中村委員）

A. まずは児童と考えていて、そこで色々な保護者とつながればいいなど。（内山委員）

Q. 告知方法は？学校はタッチしない？（川野委員）

A. 周知の協力については、学校も一斉メールやポスター掲示でしてくれることになっている。

地区の掲示板や回覧もお願いしたい。児童全員にパンフレットと集金袋を配付する形。（内山委員）

<その他ご意見>

・いずれ保護者や地域の色々な世代の方が一緒に参加できたらよい。町内会でもチラシ配布やボランティア募集ができるかなと考えている。（濱田委員）

・まずは資料集め？自分もやってみたい。実施した主催側の苦勞を情報収集してもらって…（出牛委員）

・承認が得られたときのことを想定し、課題をつぶしていければ。（中村委員）

・協力者の件含め、町会に戻って様々な方と話ができればと考えている。（今野委員）

・一過性で終わってはいけないと思うので、誰が委員になっても継続できる仕組み作りを。（大塚会長）

【連絡・報告】

○開校50周年事業の準備について

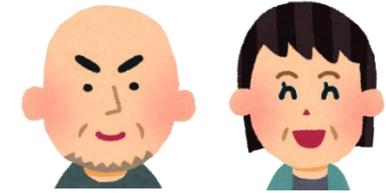
・子供たちが亀久保小学校の歴史・地域愛を学ぶ機会にできれば、と大塚会長に伝えさせていただいた。職員にも現在アンケートをとっている。実行委員会の案や承認・計画等について、あった会議でもご意見を頂戴しながら…と考えている。（校長）

・PTAでは2名の方が協力者として立候補してくださっている。来年度もお手伝いいただける方はPTAでも探すが、地域からも委員の皆さんからもご協力いただければと考えている。（大塚会長）

○学校運営協議会補助金について（事務）

○次回は9月26日（金）9：00～10：30

地域コーディネーター紹介



亀久保小学校の地域コーディネーターは、^{なかむらしゅうしん}中村修身さんと^{うちやまともこ}内山智子さんです。

地域コーディネーターとは…？

市内各校に配置された、学校の教育的ニーズと地域との絆をつなぐための存在です。
市の教育委員会の社会教育課と連携して、亀久保小のためにお力添えしていただける方と学校とを結びつけるため、試行錯誤し動いてくださっています。

お2人からメッセージ

今年度、亀久保小の地域コーディネーターに任命されました中村と内山です。
長年学校を応援する活動を重ねてきた経験を活かし、学校運営協議会のメンバーと共に学校、地域、保護者と連携して、子供達の学びと成長を支える活動を考えて実現させていきたいと思っています。
みなさまに、ご理解ご協力いただきながら、子供達の自分で考え自信を持って行動する力を支え、個々のよさや可能性を導いていけるよう努めてまいります。

今現在の活動予定として…

- *市内にある京風懐石「露崎」さんのご亭主を6年生調理実習時にゲストティーチャーとしてお招きし、食育の観点から、また和食文化を次世代へ継承するため出前授業の実施を調整中…
- *運動会前に地域の方々にも除草に協力していただく為に声かけ、依頼
- *昔遊びを教えていただけないか、地域の方々へお声かけし、多世代で一緒に楽しむ
- *地蔵院より寄贈の蓮による花組コラボ設置による蓮の葉シャワーを実施する（昨年度の写真を載せます）



他にも色々と検討中です。
また改めてお伝えしますが、何かいい提案(ゲストティーチャーを招き、やってほしい特別授業など)がありましたら、ぜひお伝えください。どうぞ、よろしくお願いいたします。